

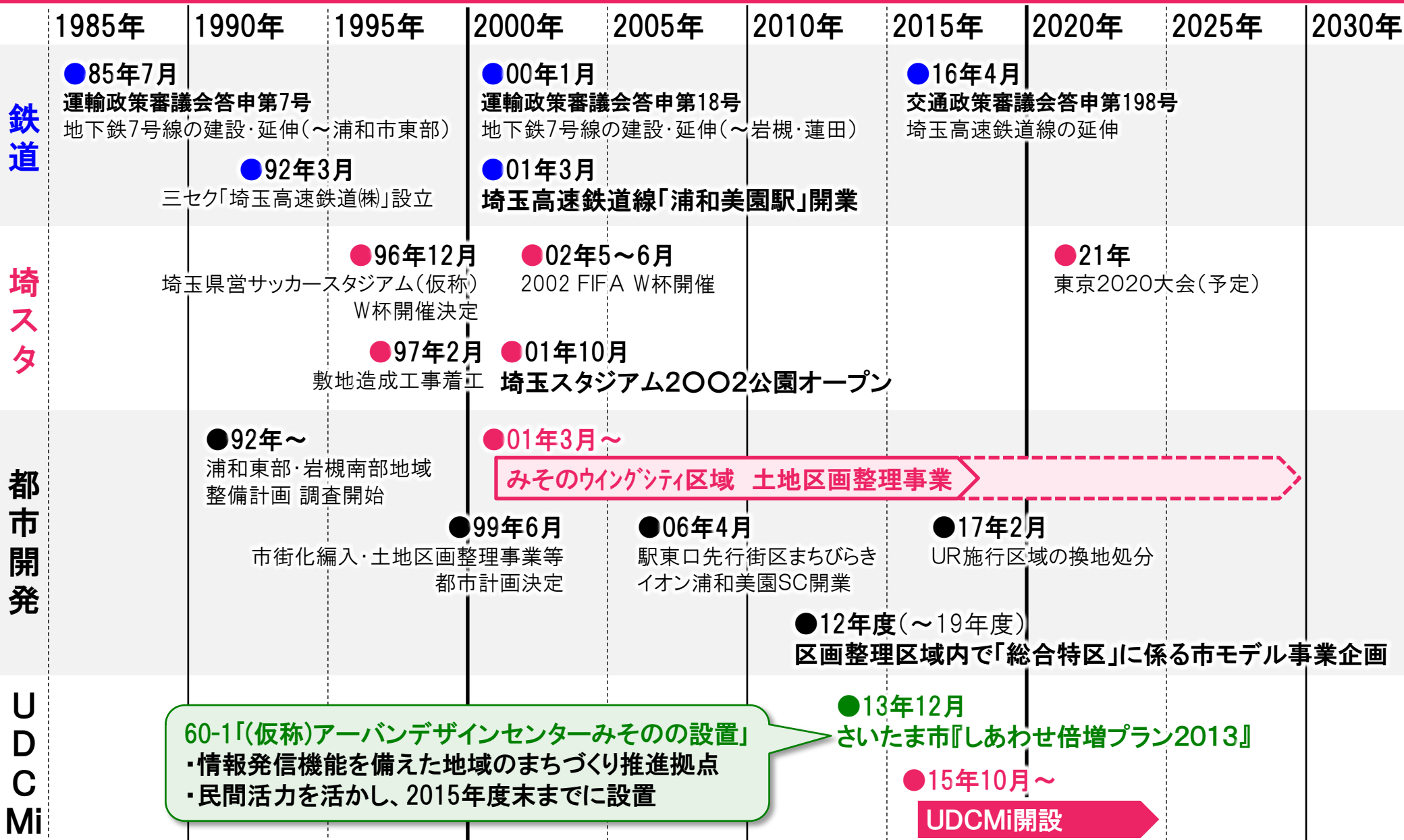
持続可能なニュータウンに向けたトランジション・マネジメント [補足]
地区将来ビジョンの再定義・共有に向けた取組
～さいたま市美園地区のまちづくり拠点：UDCMiの活動を通じて～

▲
埼玉スタジアム
2002

埼玉高速鉄道線
「浦和美園駅」▶
(東京外南北線直通)

 **Walk on Together**
共に乗り越え、新たな日常へ

さいたま市美園地区の都市開発経緯とUDCMi設立



美園スタジアムタウン＝ 街全体がスタジアムのような品格と活力にあふれ、
一人ひとりがまちづくりのプレイヤーであり、サポーターとなるまち

まちづくりの基本理念

新価値創造都市・美園

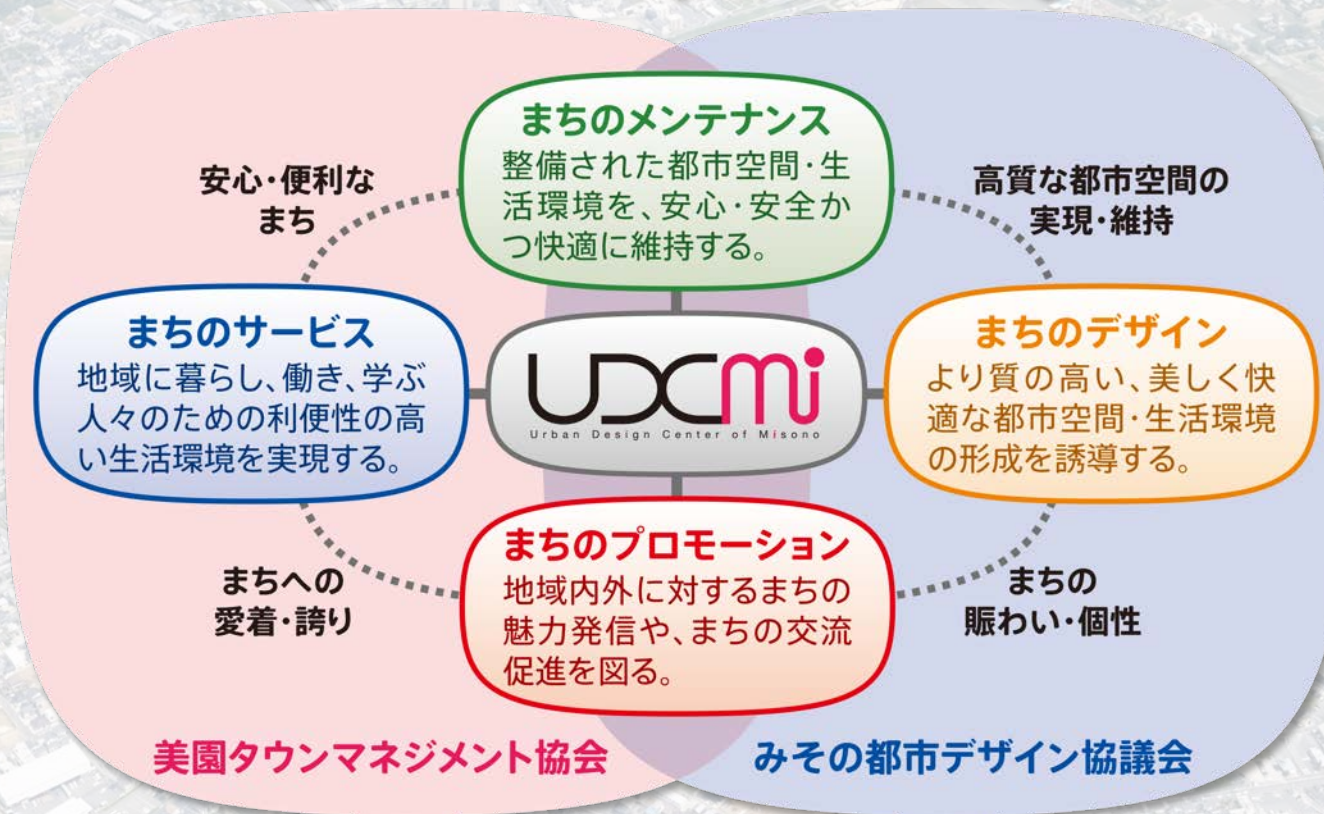
創造的な交流を通じて、新しい価値を生みながら成熟していくスタジアムタウン

多世代健幸都市・美園

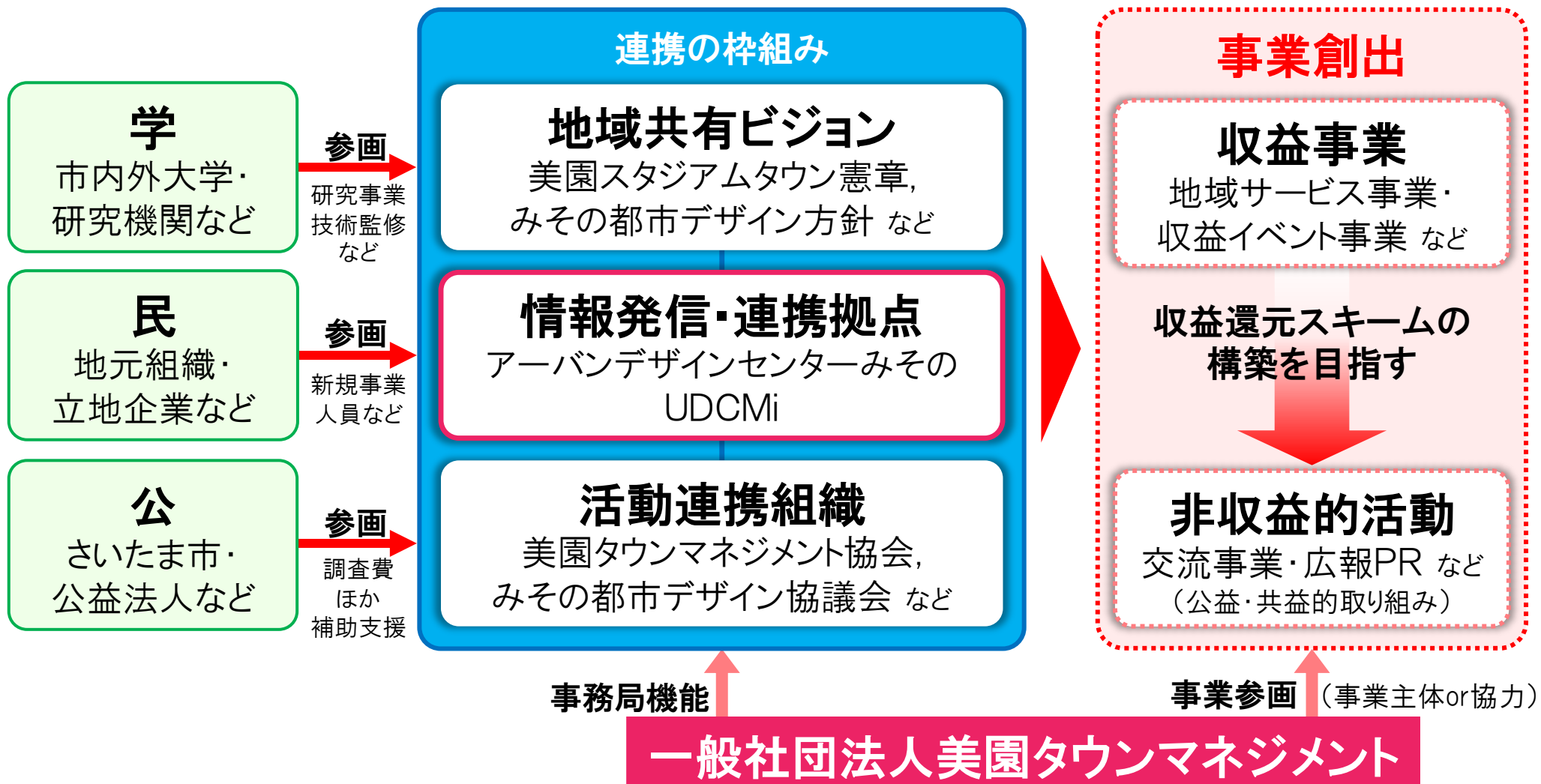
子どもから高齢者まで、地域の中で支え合い健やかに過ごせるスタジアムタウン

次世代環境都市・美園

豊かな自然に親しみ、人と環境にやさしい暮らしを未来に伝えるスタジアムタウン



UDCMiの活動の枠組み



※法人税法「非営利型法人」 ※都市再生特措法「都市再生推進法人」

各種まちづくりプロジェクトを活性化・連携促進させながら、
都市再生推進法人を介して各事業収益を地区まちづくりに還元・再投資するサイクルの確立を目指す。

地区将来ビジョンの【再定義】

- ・大規模な都市開発の進む美園地区。
- ・「浦和美園駅」の開業
- ・「埼玉スタジアム2002公園」の開場
- ・「みそのウイングシティ」の区画整理の施行開始から**今年で20年**。

- ・**この20年**で大きく社会が変革
 - ICT等技術革新の進展
 - 環境意識、健康志向の高まり
 - ライフスタイルや価値観の多様化
(都市開発当初の想定外も少なくない)

分野別・事業別・主体別の構想・計画・方針はあれど…

次の時代に向け
“将来像”を共有し連携を促進！

ビジョン再定義検討を2020年度に実施

地域住民等とのオンライン意見交換(12月)

地区内主要事業者を交えた検討会議(12～2月、SR・イオン・レッズ)

(開発当初の構想等含む)既往計画や過去の意見交換会等のレビュー

素案公表に合わせ
トークイベント(オンライン)



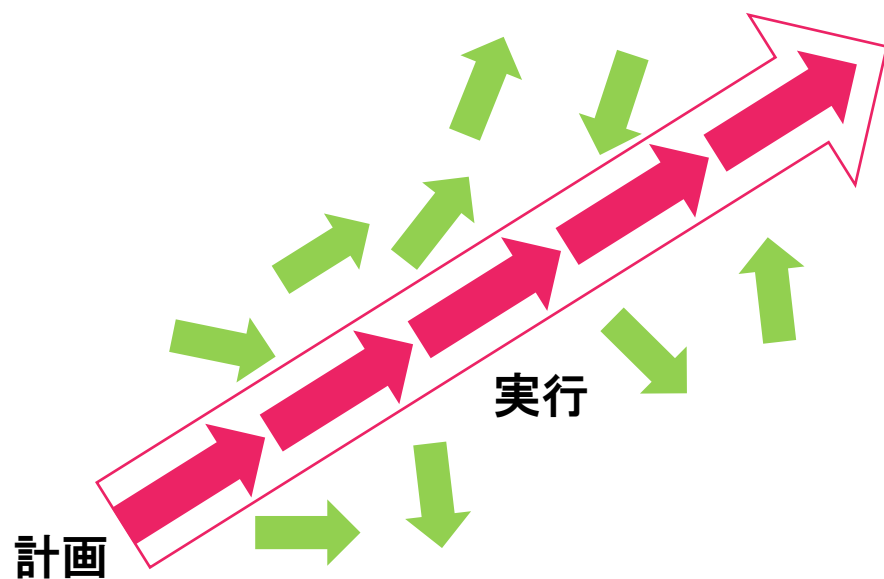
2021年3月
ビジョン素案の
作成・公表
(意見募集実施中)

策定・運用

行政主導・計画的投資

||

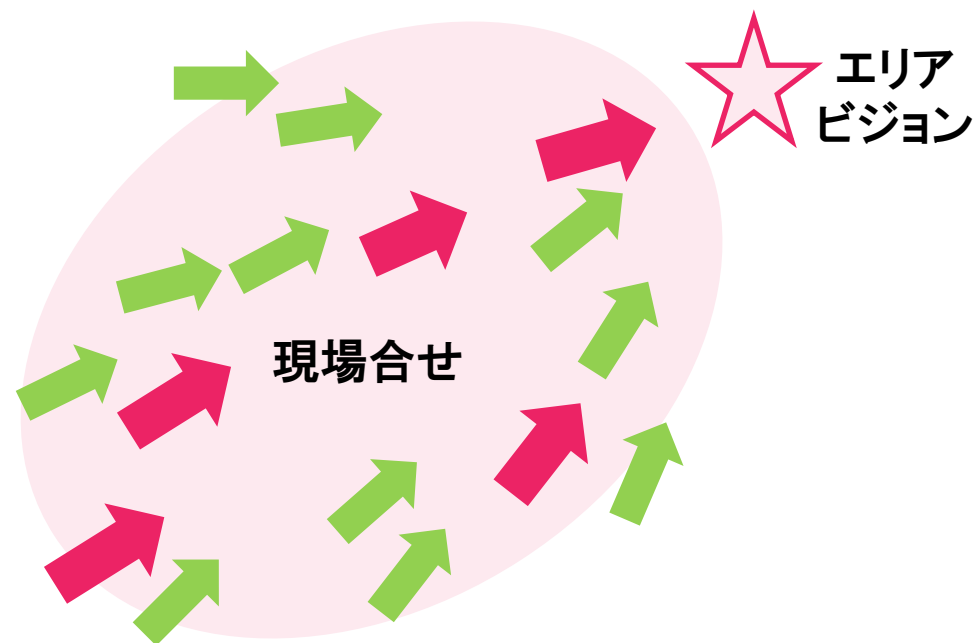
計画&実行型
まちづくり



不特定主体・アドホックな投資

||

ビジョン共有+現場合せ型
まちづくり



※(一社)UDCイニシアチブの整理を基に再解釈・加工。



1章	はじめに 策定背景・対象・目標年次等
2章	ビジョンの基本理念 まちづくり基本理念の設定
3章	美園の魅力 地区固有の魅力をレビュー
4章	将来像 魅力を最大限に生かした将来像(2050年)の設定
5章	まちづくりの方針と戦略 将来像実現に向け2030年までの方針・施策を設定
6章	活動の指針 主体間連携に基づく取組推進方針の設定



まちづくりの方針

31

将来像 (2050)	まちづくりの方針 (2030)
埼玉スタを核に、過ごす人が 1 おのずと“Well-being” になるまち	1 「埼玉スタ」を核にしたスポーツ・健康文化を伝統・誇りに育てる
	2 「埼玉スタ」を核に、まち自体を健康を育む装置化する
	3 多彩なライフスタイルの土台となり、健康を支え合う基盤をつくる
伝承と先端技術が織り成す 2 美園版“アーバンビレッジ”	4 美園の個性を磨き・育て、都心居住者をおもてなす
	5 日々の暮らしに“農のDNA”を取り込む
	6 意欲的なチャレンジから“From美園”を創出し、育てる
まちが自然に溶け込む 3 究極の“グリーンインフラ”	7 “有事に役立ち、平時にうれしい”一石二鳥の環境をつくる
	8 まちのグリーン成長を促進し、ゼロカーボンへ貢献する

